

2008年度アジア人財参加留学生

2007年留学生 2年次

アジア人財 秋開始 岡大生12名

2008年留学生 1年次

春入学 岡山大6名 聴講生 4名 合計10名

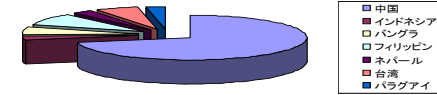
秋入学 岡山大6名 吉備国際大3名 聴講生 4名 合計13名

総計35名

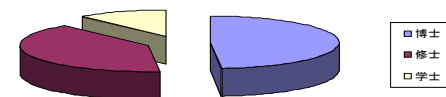
参加留学生プロフィール

合計35名参加

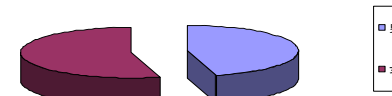
留学生の国籍



留学生の在籍別



留学生の性別



(1) ビジネス日本語教育 (岡山外語学院)

高度な日本語運用能力をもとに、企業へ就職後、スムーズなコミュニケーションや難度の高いディスカッションを可能とする日本語教育を行う。

【教育内容例】

- 目上、目下、社内、社外などの対人関係によって適切な言語表現の選択訓練を行う。
- ビジネスシーンを想定したロールプレイング、自分の体験に基づいた資料の発表、

ビジネス日本語1年目具体例

敬語、助詞の使い方は授業のつど会話しながら教育していく

就活へ！はじめの一歩

- ①オリエンテーション(1) 就職戦線に勝つ！
- ②オリエンテーション(2) 就活スタート！
- ③職況を知る(1) 情報を収集する

会社選びの第一歩

- ①「会社選びに必要な自分軸」とは？」
- ②日本の主要業界を知る(1) 調査の準備をする
- ③日本の主要業界を知る(2) 調査方法と手順を学ぶ

つかめ！面接のコツ

インターンシップハンドブック 第1回

インターンシップハンドブック 第2回

ビジネス日本語教育課題

留学生日本語レベルの格差大 1級~3級以下への教育の 仕方
一部の学生はボランティアによる個人教育へ
現在 中央会講師により補講 中

土曜日開催は アルバイトの都合 と重なる 出席率に振れ

日本ビジネス教育との一体的実施が望まれる

岡山大国際センターとの連携



2) 日本ビジネス教育 (パワープロジェクト)

日本企業文化に対する理解を促進するため、日本企業の仕事の進め方、人材育成の考え方・等に関するビジネス教育をあわせて実施する。

【教育内容例】

○欧米企業と異なる日本企業の評価処遇制度、
長期雇用型の日本企業の雇用慣行、
日本企業の会社システム(稟議制度・会議の進め方)

○日本と海外のビジネス習慣の違い、
日本で働く外国人のケーススタディ、
各人分担JOB間の隙間の埋め方 時間のある人が進んでやる (日本)

パソコンによる就活 ナビについても実習する

エントリーシートの書き方など実習

3 サンドイッチ教育

インターンシップの前、中、後で学ぶ サンドイッチ教育を行う事
で効果を最大限に引き出すことを狙っている。

大学の専門講師、企業の専門家、行政書士を招いて学習実施
2日間にわたり15名留学生参加

アジア人財サンドイッチ教育プログラム

インターンシップ前教育

1日3時間 半	概要 説明	村田教授(委員長)
	日本の雇用慣行と労働法	藤内和弘 岡山大学教授
	秘密保持	桑原良弘 ディスプロチーフ
2日3時間 半	知的財産権	同上
	就労ビザ 在留資格	岡崎博之 行政書士
	岡山の海外進出企業紹介	西本 県中央会コーディネーター
	安全 環境 品質管理	三菱化学水島 木下部長

サンドイッチ教育の留学生感想

- 日本の賃金は長く勤めるほうが得になる。(退職金)
小さい企業は法的保障が少ないのでは？
 - 企業内における秘密保持の重要性、犯せば留学生全体に及ぶ
(トヨタ系でパソコン情報引出した例)
 - ビザの説明 就労ビザに規制あり 自分の専攻との関連重要。
実用的な授業だった。
 - 岡山の海外進出企業がよくわかり、今後の就活に役立つ。
- 環境安全への日本の会社の取組みを少し理解 営利企業はRC、
CSR が事業展開の大前提となること

インターンシップ

• 岡山県内企業5社6名

- | 食品 | カバヤ食品 |
|--------|---------|
| • バイオ | 林原研究所 |
| • 土木資材 | ランデス |
| • 機械 | 精密スプリング |
| • 縫製 | 松亀被服 |

インターンシップ協力企業の開拓 県内約 50社。

2008年

<インターンシップの感想>

- 工場の稼働が低く5日の予定が3日に短縮 不況の厳しさ実感
- 会社は予定を決めその中で必ず成果を求められる厳しさあり
- 日常環境が大きく変わり自分が成長したことを感じた
- 日本語の勉強はもっと頑張りたい

会社へのお礼訪問実施 (9月卒業生)

卒業前にお世話になったインターンシップ企業を訪問 3人
卒業と就職の報告とお世話になったお礼
今後の交流について話す。特に中国の食品業界について
情報交換を約す。訪問企業からは歓迎されアジア人材と
関連を強めた。

特に海外への就職内定者は県内企業との繋がりを付けるようにしたい

インターンシップ企業にて



4 就職支援活動 留学生OB交流会

OB2名 と現役で就活により内定した1名が
体験談を発表した。
終了後のお茶会での交流。30名参加
体験談は大いに就活に役立ち好評
留学生同士の情報交換、仲間作り 効能大

この日以降アジア人財日本語教室4名聴講生入学あり



OKAYAMA UNIVERSITY

国内就職留学生と在学留学生との 交流会

日本での就職を考えていませんか？

大学院自然科学研究科と環境学研究科が中心に盛りこんでいる「アジア人財資金講座 高度実践型留学生育成講座」では、日本企業との交流や実践日本語能力養成講座などを通して留学生の日本での就職を支援します。日本で就職したい卒業生や在学学生と知り合える機会を設け、在学学生との交流を図るための機会を設けました。また現在アジア人財学生のインターンシップ、就活体験も行うことができます。

就職を考えている方や、企業の方、就職をまだ考えていない方もこのチャンスをお見逃しなく。

主 催： 自然科学研究科/環境学研究科・アジア人財資金講座 高度実践型留学生育成事業実行委員会
参加費： どなたでも参加いたします。特に在学中の留学生、日本で就職を考えている留学生の参加を歓迎いたします。

参加費： 無料
日 時： 平成 20 年 11 月 23 日 (日) 13:30~16:30
場 所： 大学院自然科学研究科棟・大会議室 (2 階)

プログラム

13:30~14:00 司会 自然科学研究科教授 村田 秀行
研究科長挨拶 自然科学研究科長 高田 潤
アジア人財資金講座の取組について

14:00~15:00 私の就職体験 金 糸野 (マイクロレゾ 愛媛県)
少の留学体験 清 隆彦 (日本スチール 茨城県)
アジア人財体験中 岡位屋花 (環境学研究科 博士後期課程 3年)
質疑応答

15:00~16:30 懇談会 (無料、直接卒業生とお話できます)

問合せ・連絡先：
大学院自然科学研究科・教授 村田秀行 (429 3924)
Tel : 086-251-8310 E-mail : murata@cc.okayama-u.ac.jp
自然学研究所等管理部 (学務企画課) 奥野伸二課 (494 299 89)
Tel : 086-251-8810 E-mail : okus@adm.okayama-u.ac.jp
Fax : 086-251-8021

4 就職支援活動

2008年度アジア人財2年生就職状況 参加12人

医薬薬学総合研究科博士	東京中小化学薬品商社	2008 9月卒
自然科学研究科博士	中国大連工業大学先生	同上
自然科学研究科博士	中国大連工業大学先生	同上
自然科学研究科博士	マレーシア 研究所	同上
自然科学研究科博士	インドネシアジャカルタ先生内定	2009 3月卒見込
環境学研究科博士	岡山県内企業に内定	同上
岡山商科大学修士	岡山県内企業に内定	同上
自然科学研究科博士	岡山県内企業に内定見込	同上
自然科学研究科博士	岡山県内企業に内定	同上

参加12人中8人内定又は就職済み

就職内定状況

県内企業 4名
県外企業 1名
海外研究所、大学 4名

就職活動 支援の反省 問題点など

就活スケジュールにビジネス教育がおいつかない

日本語能力不足、コミュニケーション力不足

論文 実験に追われ就活ができない。

リクナビ等の適応に不慣れ

特に県内内定者 本プロジェクト 成果
である

今後の取組み

奨学金の規制緩和あり

募集範囲の拡大 社文系 他大学へも

日本語レベルの高い留学生へ採用シフト

ビジネス日本語 教育レベルを向上

グローバル人財となる留学生へ

留学生諸君へ

グローバル人財となるために
専門分野を磨き
母国語 日本語 英語を使える強みを
生かしましょう。

人生は一度です。

自分に負けないで

今自分のめざすことをつらぬきとうす
しかありません

そうすれば夢は実現します



つながりを築き広げよう